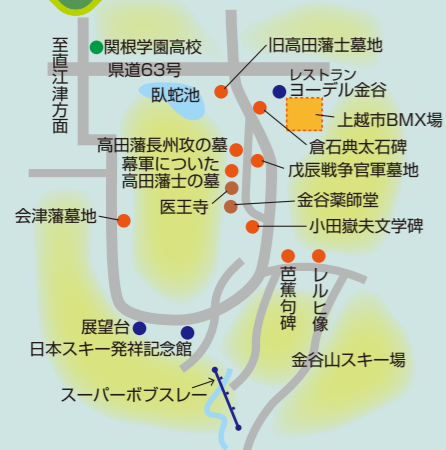


遊ぶ 金谷山界限



2011 日本スキー発祥100年

日本スキー発祥の地・金谷山



金谷山公園 map 5
 明治44年(1911)、当時のオーストリア・ハンガリー帝国の軍人、レルヒ少佐がスキー術を伝えた日本スキーの発祥の地、金谷山。グリーンシーズンにはスーパーボブスレーが楽しめる憩いの場となっています。
 9:30~17:00 ¥リフト1回券大人200円、小人150円、ボブスレー1回券150円 ☎025-526-5111(観光振興課)
 ☒ 上信越自動車道 上越高田ICから車で5分



日本スキー発祥記念館 map 6
 記念館には、スキーの歴史がわかるスキー発祥当時のスキー板や様々な文献のほか、レルヒ少佐に関する貴重な資料を多数展示しています。
 9:00~17:00(11月~3月の平日は10:00~16:00)
 休 月曜日・祝日の翌日・12月29日~1月3日
 ¥一般450円、小・中・高校生150円 ☎025-523-3766
 ☒ 上信越自動車道 上越高田ICから車で5分



城下町 高田

歴史と文化

高田

Takada area エリア [市街地]



エリア検索 [高田]

歩く

高田公園界限

高田城には御三家に次ぐ家格をもつ松平光長が入り、寛文5年(1665)の大地震からの城下の復興、中江用水の開削による大穀倉地帯化など、家老小栗美作主導による繁栄政策により、現在の高田の礎が築かれました。

上越市立歴史博物館 map 1

「越後の都」をテーマに、安土桃山時代以降の地域の歴史を解説、春日山城・福島城・高田城の変遷や時代背景、その後の地域の発展の様子を学べます。新装したカフェコーナー、ミュージアムショップなどお休みどころとして利用できます。

9:00~17:00 休 月曜日(祝日の場合は翌日)
 ¥一般500円、小・中・高校生250円 ☎025-524-3120
 ☒ 高田駅からバス9分・「高田公園入口」下車徒歩5分

見る

上越偉人の文学に触れる

小川未明文学館 map 2

「日本のアンデルセン」、「日本近代童話の父」と呼ばれる小川未明。未明文学の世界を感じ、その言葉に遊び、未明と語りあえる文学館です。

火~金曜日: 10:00~19:00(6~9月は20:00まで延長開館)
 土・日・祝日: 10:00~18:00
 ¥無料
 休 月曜日・毎月第3木曜日・祝日の翌日・年末年始・特別図書整理期間
 ☎025-523-1083
 ☒ 高田駅からバス9分・「高田公園入口」下車徒歩5分

高田公園は見どころ満載! 春は桜、夏は蓮

高田城百万人観桜会 map 4

高田公園やその周辺を含めて約4,000本の桜が咲き誇る見頃に合わせて観桜会が催されます。三重櫓と桜が約3,000個のぼんぼりの明りに映え、お堀の水面にうつる様は「日本三大夜桜」の一つといわれるほど美しく、華やかさにつつまれます。

☎025-543-2777(上越観光コンベンション協会)
 ☒ 高田駅からバス9分・「高田公園入口」下車徒歩5分、高田駅から徒歩15分
 上信越自動車道 上越高田ICから車で15分

上越蓮まつり map 3

高田公園の外堀約19haを埋めつくす東洋一の規模と美しさを誇る蓮は、夏の暑さを忘れさせ、幽玄の世界に誘ってくれます。

☎025-543-2777(上越観光コンベンション協会)
 ☒ 高田駅からバス9分・「高田公園入口」下車徒歩5分、高田駅から徒歩15分
 上信越自動車道 上越高田ICから車で15分

見頃 7月下旬~8月中旬

日本三大夜桜

EVENT GUIDE

二・七の市 四・九の市 高田の朝市



「その土地のことを知りたければ、まず市場を訪ねるといい」と言われます。時を超えて受け継がれてきた市(いち)に一歩足を踏み入れたなら、土地のにおい、暮らしに息づく知恵、そこにしかない宝物に出会えるかもしれません。



よつさないや~ 上越の朝市

7:00~正午頃 ☎025-526-5111(観光振興課)
 ☒ 二・七の市 高田駅から徒歩10分、四・九の市 高田駅から徒歩7分

高田の朝市の他にも

直江津の朝市 柿崎の朝市
 三・八の市 一の日市
 ☎7:00~正午頃 ☒直江津駅から徒歩15分 ☒柿崎駅から徒歩5分



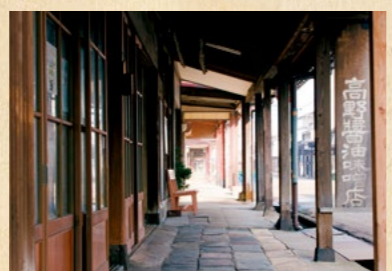
時めくり コラム 町家と雁木 ~城下のまちづくり~

「町家」は、街道や人通りが多い道に面した道沿いに多くの店を構えられるように工夫された、間口が狭く奥行きの長い家造りで、戸を開けて家に入ると、「ミセ」「チャノマ」「ザシキ」の順に配置され、その横に長い通り庭が建物の表から裏まで通り、茶の間の上部には明かり窓をもった美しい吹き抜け空間が広がります。

「雁木(がんぎ)」は家の前に出した庇(ひさし)の呼び名です。豪雪地帯の高田において冬の生活道路を確保するため、居住者が私有地を提供し合い造られました。高田に現存する雁木の総延長は16kmにも及び、日本一です。「町家」と「雁木」は城下町高田を特徴づけるものとして市民と行政が協力し保存・活用に取り組んでいます。



町家 旧今井染物屋 map 7



高田の雁木 map 8

高田髻女

髻女は、三味線を弾いて唄をうたい、村々を旅する盲目の女性旅芸人のことを言い、なかでも高田では近代にいたるまで多くの髻女が活動していましたが、時代の変化とともに次第に数が減っていききました。高田髻女の歴史に関心がある方は「高田髻女最後の親方 杉本キクイ」展図録を歴史博物館で手に入れることができます。また、髻女ミュージアム高田(上越市東本町1-2-33)もぜひご覧ください。

